

川上ダム通信

2022

8・9

月合併号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



令和4年5月1日に
設立60周年を迎えました
Vol. 205、206
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

～事務所移転のお知らせ～

川上ダム建設所は、令和4年8月19日(金)をもって現在の事務所(伊賀市阿保251番地)を閉鎖し、下記のとおり移転することとなりましたので、お知らせいたします。

① 独立行政法人水資源機構

川上ダム建設所

(工事期間中は一般の方は進入できません)

三重県伊賀市阿保2171番地12

【移転時期】令和4年8月8日(月)予定

【電話番号】0595-52-3690

【FAX番号】0595-52-3687

【部署】所長、副所長(技術)、事業調整役、
用地課、環境課、工務課、調査設計課、
工事課、管理課、機械課

② 独立行政法人水資源機構

(木津川ダム総合管理所内2階)

川上ダム建設所 名張事務所

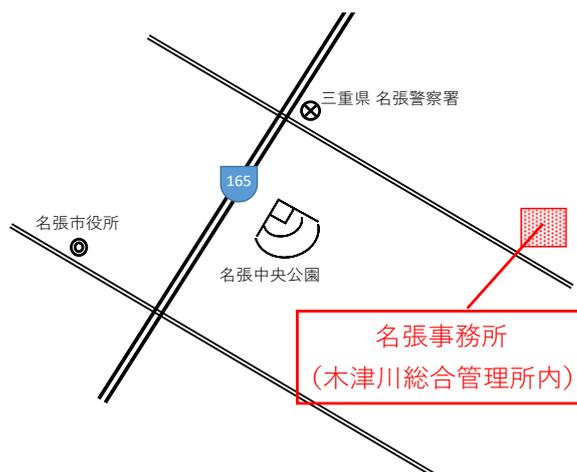
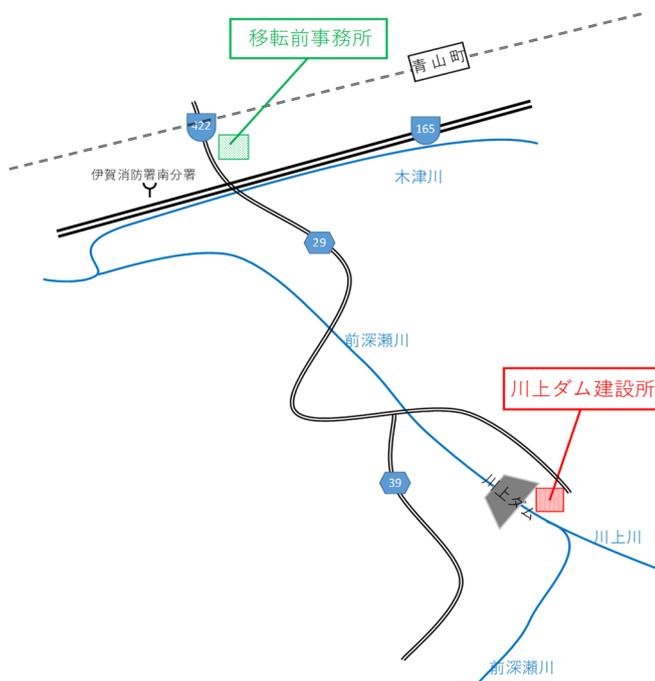
三重県名張市下比奈知2811-2

【移転時期】令和4年8月22日(月)予定

【電話番号】0595-52-3690

【FAX番号】0595-52-8590

【部署】所長、副所長(事務)、総務課、経理課

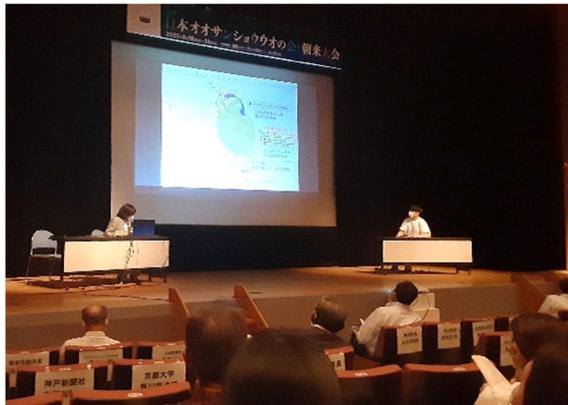


川上ダム建設所は工事期間中、一般の方は進入ができませんので、恐れ入りますが、お問い合わせは名張事務所へお願いいたします。



【総務課 奥野紗江】

日本オオサンショウウオの会 ・ 朝来大会に参加しました！



筆者も発表しました

令和4年6月18日、19日に「日本オオサンショウウオの会」が兵庫県朝来市で開催され、日本各地からオオサンショウウオ研究の現状報告や研究発表会が行われました。

会場はオオサンショウウオファンでほぼ満員となり、文部科学大臣の末松信介氏や女優の竹下景子氏がゲストとして参加され、大会はとても盛り上がりました。

また、大会では様々なオオサンショウウオのグッズが販売されていました。写真は日本固有種バージョンであるオオサンショウウオのぬいぐるみです。とても精巧に再現されていました。

川上ダムからも、オオサンショウウオの保全対策として実施している、堰等に設置している遡上路的利用実態について報告を行い、オオサンショウウオファンの方から暖かい応援をいただきました。



会場の入り口の様子



とても迫力のあるぬいぐるみです

【環境課 川崎彩花】

川上ダム事業説明会を開催！

令和4年7月1日（金）、当建設所ふれあいホールにおいて、青山住民自治協議会の皆さまに事業説明会を開催し、今年度で最終となる建設工事の概要等について説明しました。

質疑応答では、試験湛水終了後も行うダムの安全性に関する調査について回答を行いました。



所長によるあいさつのようす

また、説明後の現場見学においては、ダム堤体、管理棟およびダム下流の発電設備へご案内しました。試験湛水中のダムのような様子を確認いただき、「完成したダム堤体の上は通れますか」といったような、その場でいただいた質問に回答しました。説明会は終始和やかな雰囲気となりました。

試験湛水終了後を見据えて事業をすすめ、地域の皆さまにご理解をいただけるよう努めてまいります。

【用地課 近藤 扶】



下流からダムを見学していただきました

光ファイバーケーブル敷設工事を実施！

川上ダムと木津川ダム総合管理所を繋ぐ光ファイバーケーブル（以下「光ケーブル」）の敷設工事が完成しました。

光ケーブルは川上ダムの諸量や河川監視カメラ映像のデータ伝送を目的として、川上ダム管理棟から名張市の木津川ダム総合管理所までの約11kmの区間において、光ケーブルを電柱に取り付けて敷設しました。また、ダム下流における木津川の河川状況を確認するため、新羽根橋と比土橋付近に河川監視カメラを設置しており、そこまで光ケーブルを延長して、川上ダム管理棟で映像監視ができるようにしました。



光ケーブル敷設のようす



光ケーブルのルート図

川上ダムでは独自の光ケーブルを敷設したことにより、外部からの障害の影響を受けない安定したデータ通信が可能となりました。

当工事の実施においては、地元的生活道路の交通規制を行い、皆様にはご不便おかけしました。ご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。今後ともご協力よろしくお願ひします。

【機械課 後 雄貴】

安全協議会の活動報告！



7月1日（金）、関西支社の安全協議会が川上ダムで開催され、安全協議会委員のほか、本社中央安全協議会から古賀副会長のほか2名が参加されました。

安全協議会では労働災害に繋がる事故事例や安全対策等の模範となる事例を紹介し、その後は、工事現場のパトロールを行いました。



会場のようす



工事現場を安全パトロールしました

パトロールでは、労働安全に関する指摘がありました。現在は施工業者による是正を完了しております。

なお、この内容は労働災害の発生を未然に防ぐために安全協議会委員・工事関係者へ周知しています。

川上ダム安全協議会は、今後も安全第一に無事故で事業を推進させるため、労働安全活動に取り組んでまいります。

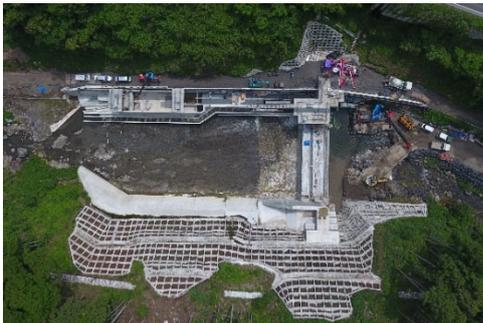
【工務課 山田 聖】

流入水バイパス 取水堰コンクリート打設完了！！

この度、皆さまのおかげをもちまして、川上ダム流入水バイパスの取水堰（堤高8m、堤頂長56mのコンクリート構造物）のコンクリート打設が完了しました。

川上ダムでは、秋から冬にかけてダムからの放流水温が河川水温よりも高くなることを見込まれているため、ダム上流の水を貯水池に溜めずに流入水バイパスを介して直接ダム下流へ放流することにより、下流に生息する生物への影響の少ないダムの運用を目指しています。また、この堰には魚道およびオオサンショウウオ用の遡上路が設置されており、周囲に生息する生物への配慮もされています。

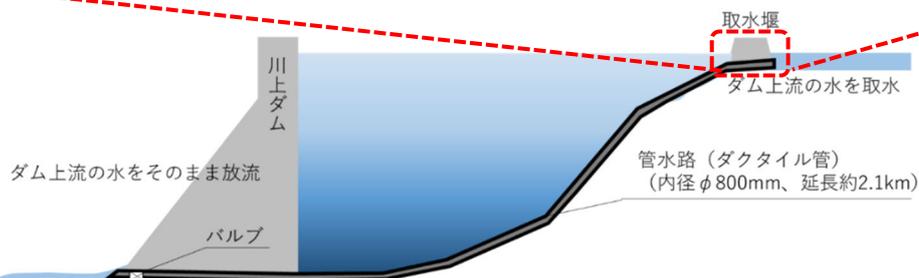
今後は管理用道路など周辺整備の工事を着実に進めてまいります。



上空からの取水堰の全景。右側が上流、左側が下流



左岸上流部からの写真



ダム下流 河床整備が完了しました！



ダム下流は閉塞コンクリート打設のため工事用進入路を存置していましたが、閉塞コンクリート打設完了に伴い、河床整備および工事用進入路や水路などの仮設構造物の撤去が完了しました。

河床整備はオオサンショウウオをはじめとした河川に生息する生き物の隠れ家となるよう、現地にあった大きな石を川岸の一部分や傾斜部に敷き並べています。また、写真のような凸凹した河床の形状は、土砂が時間をかけて少しずつ削れることによる下流への土砂供給の役割も担っています。このように下流河川の環境に配慮した作りとなっています。



堤頂からのダム下流の眺望



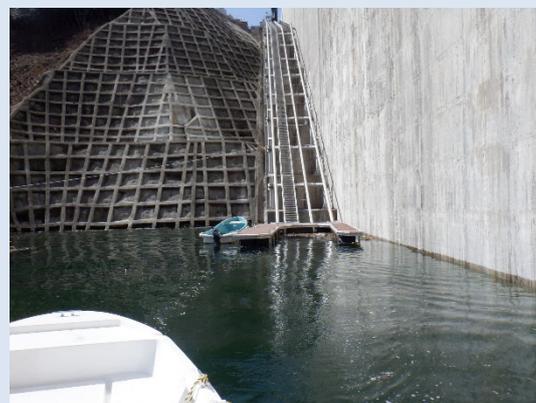
ダム下流のようす

川上ダム紙面見学会



「川上ダム紙面見学会」第4弾は、船から見た川上ダムの景色をご覧ください！

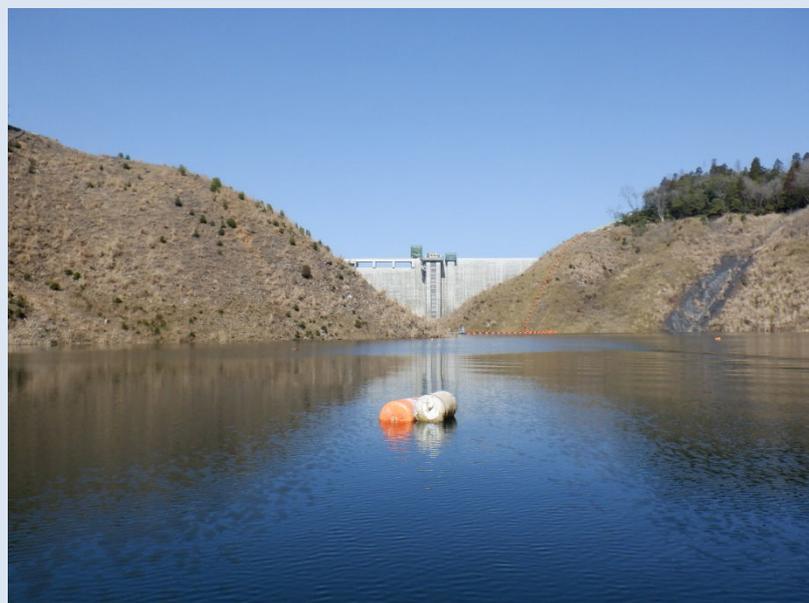
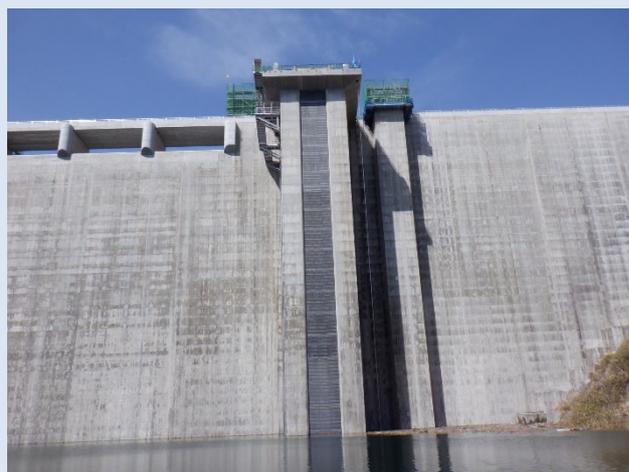
【総務課 奥野紗江】



堤体を間近で見られるのも、船ならではの！



水質保全の役割を担う浅層曝気装置です。



「川上ダム紙面見学会」では、皆さまのリクエストにお応えしますので、こういったところが見たい！など、是非「**#川上ダム**」でツイートするか、メール(somu1@lily.ocn.ne.jp)にてご要望をお聞かせください！

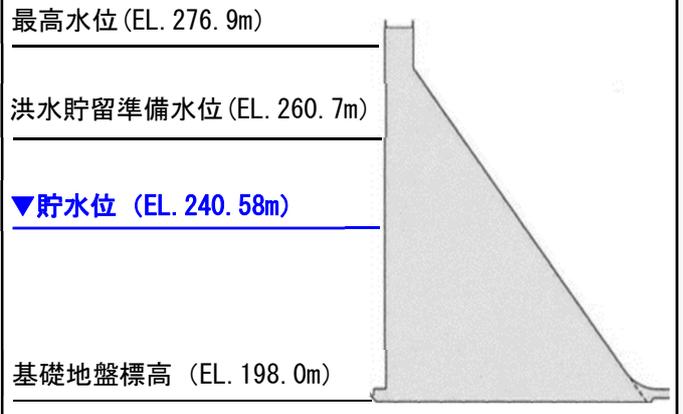


試験湛水進捗状況

川上ダムは令和3年12月16日に試験湛水を開始しました。川上ダムの基礎地盤標高E.L. 198.0mに対して令和4年7月20日（9時）には貯水位E.L. 240.58mに達しており、貯水率（最高水位までの貯水量31,000千 m^3 に対する割合）は約17%（5,303千 m^3 ）です。



ダム直上流から前深瀬川を撮影



試験湛水状況（令和4年7月20日9時）



川上川からダムを撮影



ダム直上流からダム堤体を撮影

【管理課 北爪 皓】

編集後記

この度8月1日付けで川上ダム建設所より転出することとなりました。

川上ダム通信デスクとして1年4ヶ月。川上ダムや地域に関する情報を少しでも分かり易くお伝えできるよう努めて参りました。

交替する新デスクに引き継ぐこととなりますが、これまで本通信を支えていただいた皆さまに御礼を申し上げますとともに、引き続き川上ダムへのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

【川上ダム通信デスク 荒木佐知】

【広報誌発行事務局】

編集長 津久井（所長）
デスク 荒木（総務課長） 松浦（工務課長）
記者 奥野（総務課） 北爪（管理課） 近藤（用地課）
山田（工務課） 山下（工事課） 土屋（機械課）